NPO法人環境市民の月刊会報誌

みどりのニュースレター

2016年4月号 no.275

今月の一枚



報告 気候変動と生物多様性セミナーを開催しました！

1月19日に国立環境研究所の江守正多さんと共同通信社の井田徹治さんをお迎えし、気候変動と生物多様性のセミナーを開催しました。会場である、国際交流会会館には、１００人を超える参加者にお越しいただきました。市民の方も企業の方もお越しいただいて、大変に充実したセミナーとなりました。その内容を一部ご紹介します。

気候変動と生物多様性の関係

セミナーのテーマである気候変動と生物多様性。これらは互いに関連しつつ、地球環境問題の中でも大きなトピックになっています。

生物多様性の減少は、CO2の吸収源の減少、さらにはCO2排出源にもなりつつあり、地球温暖化の原因の一つとなっています。また、気候変動は、生物多様性を減少させる原因となると予想されています。

実際にも海洋生物がより寒い地域へと移動しつつあり、漁業へ影響が出ています。また、生態系の相互作用は分からない部分が多く、地球全体で起きる大移動の中で取り残された種の影響がどう出るのかが懸念されています。

また、両者の直接の影響だけでなく、太陽光パネルやバッテリーに使われるレアメタル採掘やバイオ燃料生産などが環境破壊を引き起こしてしまというように、気候変動対策が生物多様性を減少させてしまう状況も生まれ始めています。

気候変動も生物多様性の減少も、現在の私たちのライフスタイル生み出したいわば生活習慣病です。どちらかだけに注目するのでなく、両方をにらんだ生活改善が必要になりつつあります。



セミナーに登壇する両氏

環境市民は地域から持続可能な社会をつくる環境NGOです

今月の一枚

3月12日は「バイバイ原発 きょうと」でした。約2200人もの方が参加。円山公園を出発し市内をパレードしました。原発はいらない、再稼動反対の思いをあらたに、また日々の活動をがんばっていきましょう！

COP21で何が合意されたか

さて、セミナーでは12月にパリで開催された気候変動枠組条約COP21、その成果として合意されたパリ合意の内容が大きな話題になりました。その内容について、ご存知でしょうか。

パリ合意では、気候変動の目標が従来の２℃より踏み込み、「2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」、「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成する」ことが合意されています。後者を分かりやすく言うと、「脱化石燃料社会への転換」という重要なコンセプトが打ち出されたということです。

このような合意が可能になった背景として、気候変動対策が可能であり、対策には経済への悪影響だけでなく、好影響も出てくるという認識が広まったことがあります。ゲームが負担の押し付け合いから、機会の奪い合いへと移行しているということです。

さて、日本の気候変動対策の議論では、技術的な対策と社会的の変化どちらが良いのかという対立が生まれつつありますが、対立構造が先鋭化すると対策は進まなくなってしまいます。セミナーでも、技術を開発し、それを受け入れる社会の変化を生み出す。その両者が必要になるという認識が広まって欲しいという話がありました。

セミナーでは、これらの問題の基本構造から対策まで多岐にわたる話題が分かりやすく紹介されました。ご好評いただいている環境市民のセミナー。ぜひ次回は皆様もご参加ください。

（文／コーディネーター　佐藤 寛也）

報告

私たちの預貯金が戦争や環境破壊に使われている!?
フェア・ファイナンス・スクールin京都

みなさんはお金を預金するとき、何を基準に銀行を選んでいますか。ゼロ金利のご時世、どこに預けても同じだと思っているかもしれません。しかし、自分の預けたお金が銀行を通して、戦争や環境破壊に使われてしまう場合があると知ったら、同じでいられますか。

２月５日（金)、お金の流れを社会にも環境にも配慮したものにしていこうという「フェア・ファイナンス・ガイド」の取り組みを行っている、国際青年環境NGO　A　SEED　JAPANの代表、土谷和之さんを講師に迎え、「フェア・ファイナンス・スクールin京都」をひと・まち交流館 京都にて開催しました（主催：A　SEED　JAPAN、協力：環境市民）。まだあまり知られていないフェア・ファイナンス・ガイドですが、会場は定員のほぼ40人となり、市民の関心の高さがうかがわれました。

まずは現状把握から。３大メガバンク（三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京ＵＦＪ銀行）から、無差別攻撃を行うクラスター爆弾の製造企業へ約８９６億円、原発関連企業へは約1.5兆円の投



融資が行われていることが示されました。また、日本における預貯金総額は９００兆円以上に上り、資産構成の約半分を占めていて、国際的に比較しても高い比率であるため、私たちの預貯金が持つ影響力を認識し、その使われ方に注目することが重要とのお話でした。

「フェア・ファイナンス・ガイド」は、2009年オランダで生まれました。銀行の社会性を可視化すべく、投融資方針を「気候変動」「人権」「兵器産業」等の項目別に格付けを行なっています。2014年からは日本でも導入され、３大メガバン

クを含む最大手５行の格付けが公表されています（下表参照）。そのスコアの低さに愕然としました。



したが、私たちの行動によってこの流れを変えることこそがフェア・ファイナンス・ガイドの目的なのです。同ガイドを参考にし、まず私たち預金者が、銀行の方針を知ります。よりフェアな方針を掲げる銀行へ預け替えをしたり、その意思を示すことで、銀行間のＣＳＲ（企業の社会的責任）活動を良い意味で競争させ、お金の流れをより健全な方向へと導いていく仕組みです。

参加者から次々と熱心な質問が寄せられ、質問タイムの後に予定されていたワークが中止になるほどでした。このパワーなら、日本の銀行も近い将来、良い方向へ転換せざるを得なくなることでしょう。

（ラジオチーム / 奥田 一美）

コーディネーター退職のお知らせ

2016年3月をもちまして、風岡宗人、佐藤寛也が退職いたしました。新スタッフは次号でご紹介いたします。

風岡 宗人

学生時代専従スタッフとして採用していただいた時は社会経験もなく右往左往の状態。それから早15年が経ちました。多くの出来事、学び、出会い……ここでは言い尽せません。家庭では3人の子育て、他の仕事などライフスタイルの変化もあり、一度落ち着いて自分を見つめなおし、今後の私と家族そして社会との関わりを構築していきたいと退職を決めました。いまの自分は環境市民で出会ったすべての方々なしには存在しえません。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

佐藤 寛也

１年半という短い期間でしたが、環境市民でコーディネーターを務めさせていただきました。在職中は、環境首都創造ネットワークの運営や、webサイトの改善、日々の業務の適切化に取り組んできました。会員、関係者の皆様のご支援のおかげで充実した仕事をすることができたこと、改めて御礼申し上げます。

私は、新しい道へと進むことになりましたので、退職させていただきますが、また新しいスタッフが環境市民の活動を一歩前へと進めてくれると思いますので、引き続き環境市民へのご支援をいただけますと幸いです。

これまでのご支援、誠にありがとうございました。

行事

※申込みは、名前、電話番号、メールアドレス、会員or一般の別を環境市民までご連絡ください

ボランティア 誰でも参加できる1Dayボランティアデー

4/27（水） 午後2:30から5:00頃まで

●ところ：環境市民京都事務局

会報誌『みどりのニュースレター』の発送作業をします。はじめての方も大歓迎。ぜひお越し下さい。

gooddo 環境市民ページにクリックをお願いします

環境市民は、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しています。

http://gooddo.jp/gd/group/kankyoshimin/?md=fb
（もしくは gooddo.jp へ行き、「環境市民」で検索）

上記のリンクからgooddoの環境市民のページに行き、毎日クリックをするだけで支援金が「環境市民」に届けられます。クリックのポイントに応じて環境市民に支援金が入ります。
ぜひ、毎日応援をよろしくお願いします！

今月のありがとう

（ご寄付）
合計115,290円のご寄付をいただきました
青木 里佳、江口 聰、正阿彌 崇子、枚本 育生
鈴木 靖文、永橋 爲介、中原 中哉、前田 健志・聡子
柳原 徳子、山内 寛、やまさき あおい、吉川 康彦
西田　孝司、不特定寄付者

（ニュースレター発送作業）
久保 浩

（ニュースレターの作成）
泉 克典、布留川 恭子

ON AIR

環境を身近に感じる 15 分♪

「環境市民のエコまちライフ」

電力自由化スタート



4 月から小売り電力が自由化されました。
契約変更には、面倒な手続きが必要なのでしょうか？
あるいは、火力、原子力、再生可能エネルギーといった、発電の仕方も選べるようになるのでしょうか？

お話　：加志村 拓さん
（京都大学大学院、地球環境学堂・学舎在籍中）

▼インターネットで聴けます

まず、「環境市民のエコまちライフ」で検索。サイト内の 2/29、3/7 放送分（各 15 分）をたどってください

環境市民のエコまちライフ　検索

京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）から放送
radiocafe.jp/20034006

毎週月曜午後 1:00 から放送
（再放送は火曜午前 7:00 から）

「会員になる」「寄付をする」も参加の一つです。

環境市民は、ボランティアと会員、寄付によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ応援をお願いします。

お振込先　**【郵便振替 口座番号】**
01020-7-76578
加入者名：環境市民

〈会員特典〉月刊会報誌「みどりのニュースレター」マガジン「流れを変える」をお届けいたします。行事などの参加費を割引させていただきます。環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。入会時には記念ポストカードを差し上げます。
〈会員種類〉法人会員の他、個人会員（年会費 4000 円、入会金 1000 円）、シニア・学生会員（年会費 3000 円）などの種類があります。詳しくは事務局まで。
〈入会申込〉郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容をご記入の上、ご入金ください。
〈ご寄付〉住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上ご入金ください。**環境市民への寄付は税制控除の対象**となります。

※遺贈、相続財産のご寄付も承っています。

誰もが参加できる環境 NGO

環境市民
Citizens Environmental Foundation

TEL 075-211-3521 FAX 075-211-3531
mail life@kankyoshimin.org
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 206
http://www.kankyoshimin.org
Twitter アカウント @kankyoshimin
facebook http://www.facebook.com/kankyohsimin



（発行）特定非営利活動法人 環境市民　（代表・発行人）枚本 育生

本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。「環境市民」登録商標 第4809505号